19 株式会社 上野鉄工所

冷間鍛造でノウハウを蓄積

充実した設備で常に技術を革新

平成25年度 補助事業と具体的成果

■ 事業テーマ

最新型サーボプレス導入による 冷間鍛造と精密プレスの高精度複合加工

■ 事業概要

ものづくり補助金を活用し150tのサーボプレス機を導入。主力である自動車部品の加工工程で使用し、品質向上と生産性約15%アップを実現した。冷間鍛造加工の専業メーカーとして長年にわたり技術と経験、ノウハウを蓄積してきた同社であるが、同機の導入により、冷間鍛造と精密プレスの複合加工を可能にした。品質・コスト・納期など要求されるものが他業界より厳しいとされる自動車業界で、新たな用途開拓と提案力の強化に取り組んでいる。

150tサーボプレス機

課題	取組	成果
●国内外の同業他社との差別化や競争力強化を図り、コストダウンと新市場開拓につなげる事が課題であった。	●冷間鍛造で加工した製品の“抜き”工程を新たに導入したサーボプレスで行うことで、これまでのプレス機械と比べて、加工スピードをアップしながら精度も向上している。	●冷間鍛造と精密プレスの複合加工により、加工精度と生産性が向上。付加価値の高い製品提供が可能となった。使用する金型の寿命も向上し、大きなコストダウンに繋がっている。

業務内容

経験豊富な冷間鍛造技術で他社をリード

旋盤による自転車部品の加工を主事業に創業し、その後、熱間鍛造から冷間鍛造も手がけるなど業容を拡大。現在は冷間鍛造による自動車部品や産業機械部品、ガス容器部品などの製造をメーンに事業を展開し、自動車部品関連が同社の売上全体の約60%を占めている。冷間鍛造については、自動車部品に先駆けて早い段階で自転車部品を手がけており、ここで蓄積した経験とノウハウが、厳しい品質やコスト、納期が求められる自動車分野での顧客開拓の原動力になっている。

充実した設備を活用し幅広い顧客ニーズに対応

約半世紀にわたり積み上げてきた冷間鍛造の技術はもとより、工程設計や金型設計も自社で行い、短納期や低コストについてなど、顧客にさまざまな提案を行っている。製造現場には豊富な設備を揃え、特にプレス機については250t、400t、630t、800tまでを設置。大型の加工品にも対応できる体制を整えている。上野忠志社長は「800tの大型プレス機を導入している企業はそれほど多くないと思う。これにより仕事の幅が広がった」と強調する。

さらにここ最近では、150tのサーボプレス機を導入し、冷間鍛造と精密プレスの複合加工を実現。付加価値の高い製品を生み出すことで他社との差別化を図り競争力を高めている。

大型ナックルジョイントプレスで大物加工に対応

強みとビジョン

複合加工が生かせる分野で新たな需要を狙う

創業以来いち早く冷間鍛造を手がけ、これまで約半世紀にわたりノウハウを蓄積してきた。高められた技術力は大手企業への納入実績が証明している。設備投資も積極的に行い、常に技術革新に取り組んでいる。たゆまぬ用途開発が同社の強みだ。

注目されるのは、同業他社でもあまり見ることがないという800tの大型プレス機。これに加えて、ここ最近ではサーボプレス機も導入。冷間鍛造と精密プレスの複合加工を可能にし、仕事の幅を大きく拡大した。上野社長は「大物の加工にも対応できるのが当社の強み。今後は複合加工でしかできないような独自技術で新たな分野を開拓していきたい」と先を見据える。

NC旋盤

ロボットの導入で更なる生産性向上図る

新たな人材確保が難しい中、同社の人材育成はＯＪＴが基本。例えば、上野社長は「工程設計などＣＡＤを使って行う作業であっても、まずは製造現場を理解していなければうまくできない。現場での経験が不可欠だ」と強調する。トライ・アンド・エラーの繰り返しが重要との考えを基に、製造現場で、より多くを経験させる人材育成を行っている。

今後は最少の人員で、より生産性を高める狙いで一部工程にロボットの導入も検討している。

製造現場での経験が重要

更なる用途拡大目指し技術革新に力を注ぐ

規模の小さな会社ですが、他社に比べると設備の充実度には自信があります。同業者ではめずらしい800tの大型プレス機を設置し、大型の加工物にも対応できるところが当社の強みです。冷間鍛造には、まだまだ潜在能力があると感じています。これからも技術革新に取り組み、更なる用途拡大を目指していきます。

●社　名　株式会社 上野鉄工所
●代表者　代表取締役　上野 忠志
●住　所　〒587-0003 大阪府堺市美原区阿弥456
●ＴＥＬ　072-361-5115　●ＦＡＸ　072-361-4056
●資本金　35,000千円　●従業員　8名
<<< 代表取締役　上野 忠志

http://www.ueno-jp.com/

●主な取引先　自動車部品メーカー
●主な保有設備　ナックルジョイントプレス（800t、630t、400t、250t）、サーボプレス、ＮＣ旋盤
●主力製品　冷間鍛造自動車部品

短納期　企画力　小ロットOK　オンリーワン技術　量産OK　試作OK　連携力

REPORTER'S EYE

冷間鍛造を専業に長きにわたり事業を展開しており、蓄積された技術とノウハウでは同業他社を一歩リードしている。時代の流れを把握し、必要となる技術を革新するため設備投資にも余念がない。厳しい条件が要求される自動車分野をメーンフィールドに、大手企業と取り引きを継続できているのは、同社技術の信頼の証となっている。今後は現状に甘んじることなく、強みを生かせる新たな分野の開拓を期待したい。